

令和4年度 第1回福崎町地域公共交通活性化協議会会議録

1. 日時 令和4年6月21日(火) 14:00~15:00

2. 場所 福崎町役場 3階 第1委員会室

3. 委員の出欠

	所属・役職等	氏名	備考
会長	兵庫県立大学名誉教授	松本 滋	
委員	福崎町区長会 代表	豊國 明仁	
	福崎町老人クラブ連合会長	藤岡 修	
	福崎町商工会長	大井 克哉	欠席
	JR西日本福崎駅 駅長	岩本 昭信	
	神姫バス株式会社 姫路営業所長	清水 忠臣	
	社団法人 兵庫県バス協会専務理事	水田 節男	欠席
	社団法人 兵庫県タクシー協会 西播支部支部長 (神崎交通株式会社)	依藤 義光	
	神姫バス労働組合 組織部長	山本 記義	欠席
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 輸送部門首席運輸企画専門官	田中 康嗣	代理 田橋氏
	中播磨県民センター姫路土木事務所 企画調整担当所長補佐	三宅 広昭	
	福崎警察署 交通課長	藤嶋 勉	
	福崎町議会議員 (民生まちづくり常任委員会)	宇崎 壽幸	
	福崎町議会議員 (総務文教常任委員会)	富田 昭市	
	副町長	近藤 博之	
技監	宇都 善和		
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所 道路管理第二課長	田尻 尚登	欠席
	兵庫県土木部 交通政策課 副課長兼地域交通班長	奥藤 秀樹	欠席
特別委員	姫路市都市局交通計画部 地域公共交通課 課長	渋川 学	

事務局	まちづくり課長	山下 勝功	
	健康福祉課長	小幡 伸一	
	健康福祉課 副課長	石川 博憲	
	まちづくり課 副課長	増山 剛	
	まちづくり課 係長	三枝 昭仁	
	まちづくり課 主査	山口 耕平	
姫路市	地域公共交通課 主任	谷口 真一	

4. 配布資料

- ・会議次第
- ・座席位置表及び委員名簿
- ・資料1 巡回バス「サルビア号」の利用状況について
- ・資料2 福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」利用状況について
- ・資料3 地域内フィーダー系統確保維持計画策定について
- ・福崎町地域公共交通活性化協議会設置要綱

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人：無

6. 会議録（司会 山下まちづくり課長）

- 1 開会
- 2 あいさつ（町長）
- 3 委嘱辞令交付
- 4 委員紹介
- 5 福崎町地域公共交通活性化協議会会長の選出
- 6 報告事項

①巡回バス「サルビア号」の利用状況について

会 長 それでは 報告事項（1）巡回バス「サルビア号」等の利用状況について、事務局より説明していただきます。

事 務 局 資料1により説明
(2 ページ)

サルビア号の各路線の運行改編を令和3年4月にさせていただきました。

1番、令和3年4月より運行事業者が、神姫バス株式会社から神崎交通株式会社へ変更となっています。月曜日から土曜日、毎日8便で変更はありません。

2番、郊外便の川西地区の改編として土曜日の最終便を廃止しました。

3番、大学バスの運行を廃止しました。

4番、市川町連携コミュニティバスは、令和3年3月までは定時路線で運行していたが、令和3年4月からデマンド型に変更しました。火曜日は福崎町内全域から神崎総合病院まで1往復、せせらぎの湯まで1往復です。木曜日は神崎総合病院まで1往復で運行しています。利用料金は1回100円です。

5番、加西市連携コミュニティバスは、令和3年4月6日火曜日から運行を開始しています。福崎町全域とイオンモール加西北条、アステシアかさい間を運行しています。アステシア加西で加西市コミュニティバス、ねっぴ〜号に乗り換えると加西病院まで行くことができます。帰りの便は時間帯により、神姫バスの路線バスを利用することとなります。利用料金は1回300円です。以上が改編の内容となっております。

(3 ページ)

令和3年度、巡回バス「サルビア号」の利用者数です。月別に、運行日数、運行する便ごとの利用者数をお示ししています。令和3年度の利用

者数は、合計1万6,660人でした。令和2年度が約1万5,657人で、前年比で6.4%、約1,000人の増加となっております。郊外便、買い物便で増加し、まちなか便と市川連携で減少しています。加西市連携バスの利用がまだ少ない状態です。復路の時間が空きすぎるというご意見をいただいておりますので、令和4年度は復路のバスの出発時刻を遅らせております。

(4ページ)

巡回バス利用者数の推移です。平成11年から令和3年度までの利用者数の推移を示しております。平成11年から平成24年の途中までは、神姫バスの小型バスで運行をしておりました。平成24年の12月にコミュニティバスに再編し、まちなか便と郊外便としております。

平成24年の1万1,397人から、平成30年の1万8,607人を除いて、令和元年、1万9,860人まで利用者が増加をしております。住民の皆さんや、観光で福崎町に来られた方にも、バス利用が定着したのではないかと考えております。平成30年度に利用者が減少したのは、猛暑で外出を控えようという風潮があったからという分析をしております。また川西便が、平成30年度から利用者が増加しているのは、月曜から土曜日までの奇数日運行から毎日の運行に変更したため増加をしています。新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は1万5,000人台、令和3年度1万6,000人台に減少してしまっています。コロナ禍ではありますが、一部の自治会から乗車体験などの要望がありますので、今後、広報等を積極的に実施していきたいと考えております。以上が、資料1の説明となります。

会 長 ありがとうございます。この報告につきまして何か御質問や、御意見ございませんでしょうか。

コロナ発生の影響についてどのように見ておられますか。

事務局 コロナで令和元年から令和2年は利用者が減ってしまったが、コロナ対策としてパーテーションを設けるなどして、乗車に支障がないよう、出来る限りの対策をとり皆さんに御利用していただくようにしております。そのかいがあつてか、令和2年度より令和3年度が若干増えているような状況です。

会 長 町民の方も少し慣れてきたのではないか。

事務局 はい。慣れられたと思います。

会 長 その他ございませんか。

サルビア号の主な利用者である高齢者の数は増えており、免許の返納をされる方も増えており、今後重要な役割があると思うので伸ばしていきたいと思います。

②福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の利用状況について

会 長 報告事項の②福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」の利用状況について報告をお願いします。

事務局 資料2により説明

(2ページ)

昨年度、運行再編について当協議会で承認をいただき、4月1日より運

行している現在の運行状況です。運行方法は定時定路線型です。運行路線は通勤便A（上り）が2便、通勤便A（下り）が2便、通勤便Bが2便、連携便が6便で、計12便です。運行日は、月曜日から金曜日で、運休日は、土曜日、日曜日、祝日、12月31日から1月3日までです。

（3 ページ）

ふくひめ号の利用料金です。通常運賃は、現金1回利用で中学生以上は200円、小学生・福祉対象者は100円、未就学児は無料です。定期券は、1ヶ月定期と6ヶ月定期があり、対象者により金額を設定しています。また、11枚綴2,000円の回数券、スマホ決済「PayPay」も利用可能となっています。

（4 ページ、5 ページ）

ふくひめ号の時刻表及び路線図です。資料は小さくて見づらいと思いますが、別途、福崎町公共交通総合時刻表を配布いたしておりますので、後ほどご覧ください。

（6 ページ）

各便ごとの利用者数の実績です。令和3年度は、1年間の運行日数が295日、1万4,590人の利用がありました。日当たり利用者数は平均49.5人となっています。令和4年4月は、20日運行して、1,437人の利用があり、日平均は71.9人となっています。また、5月は19日運行、利用者1,427人、日平均75.1人となっています。

（7 ページ）

月別利用者数の推移を表したグラフです。上段が令和3年度の平日分、下段が令和4年度となっています。令和3年度は、4～6月と8～9月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されましたが、利用者数に対してはそれほど大きな影響はありませんでした。

（8 ページ）

令和3年度の土曜日も含めた全日の月別利用者数と、土曜日の月別利用者数を参考につけています。

（9 ページ）

曜日別の運行日当たり利用者数です。令和4年4月からは、土曜日の運行を廃止しています。平日の各曜日とも令和3年度に比べて令和4年度は利用者数が伸びています。

（10 ページ）

便別の利用者数で、朝夕の通勤時間帯の利用状況は比較的堅調ですが、日中の便は、なかなか利用が伸びていません。

（11 ページ）

バス停別の利用者数です。左側が令和3年4月～令和4年3月までの累計乗降者数、右側が令和4年4月～5月の乗降者数です。利用の多いバス停は、JR溝口駅、工業団地の凸版印刷前、石塚硝子前、福崎駅前となっています。利用の少ないバス停は、西谷、中島、辻川観光交流センター前などです。

（12 ページ）

令和3年度の収入状況です。定期券、乗車券、現金利用を合わせて、約240万円の収入となりました。

以上で、報告事項②についての説明を終了します。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。

通勤での利用者は堅調だが、溝口ニュータウンの利用者が予想より少ないのは、何か原因が考えられますか。

事務局 コロナ禍で外出を控えていたようです。ニュータウンの方は「ふくひめ号」に期待してるので、回数券を買ったりなどの施策を進めていく、というお話もいただいておりますので、もう少し上がってくるのではないかと期待はしています。

会 長 姫路市の関係者の方はどのように評価していますか。

姫路市 溝口ニュータウンについてはコロナの影響があったが、団地の方で回数券を購入しています。7 ページにあるように、月別利用者数が4月5月は回復してきているので、昨年度よりコロナの影響は少ないと思います。

会 長 今後ますます増えるだろうということですね。

姫路市 はい。希望的観測をしています。

会 長 期待しています。その他にありませんか。

委員長 土曜日運行で4人だけの人数が上がっているが、これはどのようなPRをされたんでしょうか。

事務局 土曜日の運行は非常に少ないです。工業団地が土曜日が休みというのが影響していると思われます。土曜日がお仕事の方もいたので工業団地の方からは、出来るだけ土曜日の運行は続けてほしいという要望があったが、1日当たり4人という、非常に少ない数字だったので、その辺をお話しさせていただいて御理解を得て、この4月から土曜日の運行は休止にさせていただいております。それについての周知ですが、工業団地協議会の方にそういったお知らせをしていただいております。

7 協議事項

①地域内フィーダー系統確保維持計画策定について

会 長 協議事項の①福崎町・姫路市連携コミュニティバス「ふくひめ号」地域内フィーダー系統確保維持計画策定について報告をお願いします。

事務局 資料3により説明

今回申請する補助の対象期間は令和4年10月から令和5年9月までの運行期間です。国のフィーダー補助を受けるには計画を策定する必要があるため本日協議をさせていただきます。

(1 ページ)

申請書の鏡です。本日承認後、福崎町地域公共交通活性化協議会、代表者、松本会長の名前で国に申請します。

(2 ページ)

地域内フィーダー系統確保維持計画の内容です。昨年度も申請していますが、内容についてはほぼ変更がありません。名称は、福崎町・姫路市地域内フィーダー系統確保維持計画としております。

1 番に地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性を記載しています。概要は、姫路市の交通空白地域の解消や工業団地への通勤の足の確保、自動車から公共交通機関への転換、JRからの2次交通の確保、障がい

者の雇用確保を図るために、「ふくひめ号」を運行することにしています。2番の地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果として、福崎町地域公共交通網形成計画にも記載してありますが、利用者数1日あたり48人以上を事業の目標としています。事業の効果としては、交通不便地の解消、移動手段の確保、障がい者の就業支援、外出促進に繋がると思っています。

3番は目標を達成するために行う事業及びその実施主体です。姫路市や地域住民、各協議会との連携及び利用促進、時刻表配布、地元住民による乗り方教室の開催、企業と自立支援協議会が共同で実施する企業見学会、企業による障害者研修生の受け入れ及び採用としています。

4番の概要及び運行予定者は表1を添付しています。後ほど説明します。
(3ページ)

5番が費用の負担で、今回運行していただく神崎交通へ町から運行補助金を出す予定です。国庫補助金を差し引いた額は姫路市と福崎町で折半する予定です。

6番は補助対象事業者の名称で福崎町地域公共交通活性化協議会としております。

7番は利用状況等の継続的な測定方法として毎年の収支率や利用者数の確認、協議会での検証を実施する予定です。

8番から11番については該当なしです。

12番は事業を行う地域の概要として「表5」を添付しています。

13番は該当なしです。

(4ページ)

14番から16番は該当なしです。

17番は協議会の開催状況と主な議論です。「ふくひめ号」については令和元年7月に協議・承認をいただき、同10月から社会実験を開始しています。その後運行再編等について協議し、この協議会で承認していただいています。本日、令和5年度のフィーダー計画について協議させていただきます。

18番の利用者等の意見の反映状況については活性化協議会の構成員として住民及び利用者代表の参画を得ています。

19番は協議会メンバーの構成員として委員名簿を添付しています。

(6ページ)

表1は地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者です。令和5年度分で、運送予定者は神崎交通、運行系統は姫路市連携①の通勤便A、姫路市連携③の連携便、姫路市連携③-3、③-4のショートカット便です。通勤便Bについては補助対象の要件である神姫バスとの接続がないため対象外となっています。それぞれの起終点、キロ程、計画運行日数、計画運行回数等を掲載しています。右側には補助要件に適合するという内容を掲載しています。

(7ページ)

令和6年度分の地域内フィーダー系統です。

(8ページ)

令和7年度分の地域内フィーダー系統です。

(9 ページ)

地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要です。

(11 ページ)

通勤便 A・B の路線図です

(12 ページ)

連携便の路線図です。

(13 ページ)

各バスの路線図で、神姫バスとの接続がある事を表す図となっています。

太い青の線が神姫バスの路線で、赤色が「ふくひめ号」のルート図です。

福崎駅前と姫路市の宮脇口で神姫バスとの接続があります。

(14、15 ページ)

「ふくひめ号」の時刻表です。

(16～21 ページ)

各便における停留所の名称、位置、バス停間の距離を表した表です。

(22～33 ページ)

各年度毎の運行日数・回数のカレンダーです。

以上で説明を終わります。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。
なければ、採決に入りたいと思います。協議事項①地域内フィーダー
系統確保維持計画策定について、賛成の方は挙手をお願いします。

【全員挙手】

全員挙手により、協議事項①について、本協議会の協議が整ったものと
します。

8 その他

会 長 その他について何かあればどうぞ。
委 員 新型コロナウイルスの交付金の活用による利用者支援のお知らせです。
長期化しているコロナや原油の高騰を受け、交通事業者は依然として厳
しい状況におかれています。兵庫県では令和3年度補正予算について地
方単独が1.2兆円で、その一部が令和4年度に繰越になっています。令
和4年度6月補正予算で、内容としては燃料の高騰の部分について路線
バス1台7,000円、タクシー1台4,000円の交付金が出ます。これらの
支援を活用してもらえたら、とこの場を借りてご報告させていただきます。

会 長 今回の件について、何か意見、ご質問ありませんか。
委 員 交通事業者に限らず、新たな交付金を設定しております。また周知させ
ていただきますので、町内の事業者の方も申請していただければと思っ
ております。

会 長 他にはありませんか。ないようですので、事務局に司会を戻します。

9 閉会

事 務 局 松本会長ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度第1回福崎町地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

—以上—